

## - 新型コロナウイルス感染症に関するお知らせ -

愛媛県内において、6月25日時点で報告された新型コロナウイルスの感染者は82名となっています。新たな感染者の発生がない状況が続いていますが、引き続き県民の皆様には、『①うつらないよう自己防衛！ ②うつさないよう周りに配慮！ ③習慣化しよう3密回避！』を心がけるようお願いいたします。なお、息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさ（倦怠感）、高熱等の強い症状のいずれかがある場合や、重症化しやすい方（高齢者や妊婦、基礎疾患等のある方）で発熱や咳などの比較的軽い風邪の症状がある場合、それ以外の方で発熱や咳など比較的軽い風邪の症状が続く場合は「帰国者・接触者相談センター（089-909-3483）」に連絡してください。詳しくは、県ホームページ（<https://www.pref.ehime.jp/h25500/kansen/covid19.html>）をご確認ください。

### 発生動向の概況

**感染性胃腸炎**の定点当たり報告数は、第24週3.3人、第25週3.1人と横ばいに推移しています。感染予防のため、調理・食事の前、トイレの後は液体せっけんと流水で十分に手を洗いましょう。また、患者の嘔吐物やふん便を処理する際は、使い捨てのガウン（エプロン）、手袋、マスクを着用しましょう。

**腸管出血性大腸菌感染症**の届出が4例ありました。この感染症の原因菌は、ベロ毒素を産生する病原大腸菌で、この菌に汚染された食物などを経口摂取することによって感染します。少量の菌でも感染し、重症化することがありますので、小児や高齢者など抵抗力の弱い方は特に注意が必要です。下痢、腹痛、血便などの症状がある場合は早めに医療機関を受診してください。食肉を使った料理をする際は、肉の中心部まで十分に加熱（75℃で1分間以上）し、加熱不十分な肉料理は食べないようにしましょう。また、調理後の食品は長時間室温に放置せず、早く食べるようにしましょう。

**重症熱性血小板減少症候群(SFTS)**の届出が1例（宇和島保健所管内在住）と**日本紅斑熱**の届出が1例（松山市保健所管内在住）ありました。これらの疾患は、マダニが媒介する感染症です。防虫スプレー（ディート含有）を使用するなど、マダニに咬まれないよう注意しましょう。

### 県内での感染症発生状況

#### 全数把握感染症

- 二類感染症 : 結核 4例
- 三類感染症 : 腸管出血性大腸菌感染症 4例（O8 : 30歳代女性、O103 : 40歳代女性、O111 : 70歳代女性、O型別不明 : 70歳代女性）
- 四類感染症 : 重症熱性血小板減少症候群 1例（70歳代男性） 日本紅斑熱 1例（70歳代女性）  
レジオネラ症 1例（60歳代男性）
- 五類感染症 : 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1例（80歳代男性）  
梅毒 1例（30歳代男性、2020年県内累計27例）

\*その他、第23週分としてレジオネラ症1例（90歳代女性）、クロイツフェルト・ヤコブ病〔五類感染症〕1例（孤発性プリオン病古典型：70歳代男性）の届出がありました。

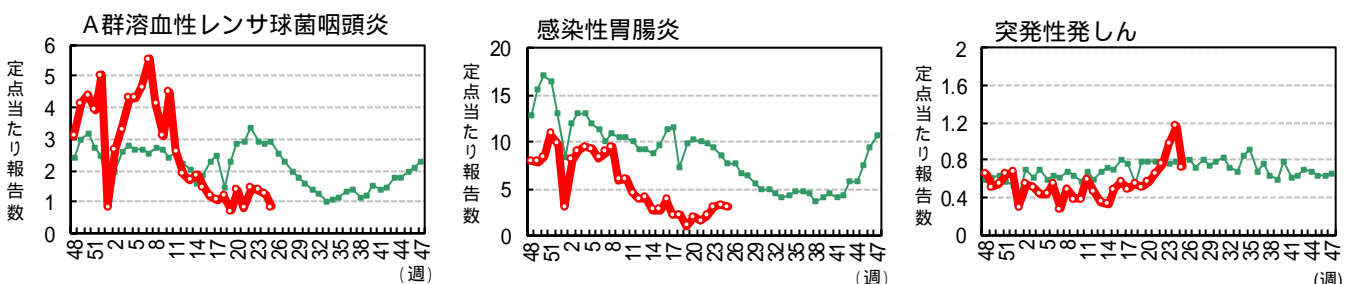
#### 定点把握感染症（数字は最新週の定点当たり報告数）

疾病名	愛媛県推移	県内の傾向
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.8	減少。
感染性胃腸炎	3.1	横ばい。四国中央保健所で増加。
突発性発しん	0.7	減少。

#### 解析評価委員のコメントから

- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 : [東予] みられています。 [中予] 減少。
- 感染性胃腸炎 : [東予] 重症は少ないですが、みられます。 [中予] 増減なし。  
[南予] 少数ながら発生しています。増加傾向はないようです。
- 突発性発しん : [東予] 変わらずみられています。 [中予] 増減なし。 [南予] 少数ですが発生しています。

過去30週の動向 (—○— : 過去30週の動向、—●— : 過去10年の平均)

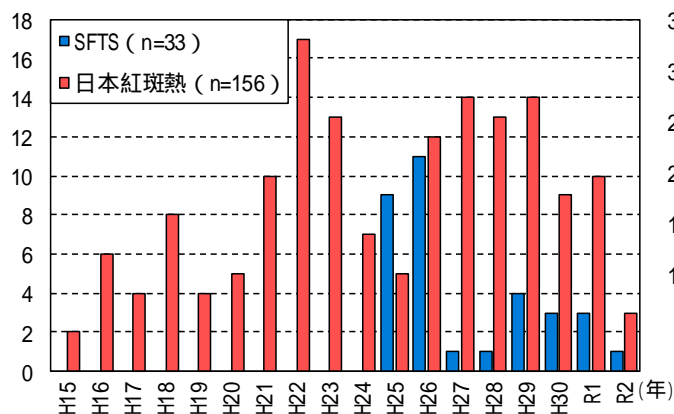


(注) 本情報での患者数は届出医療機関所在の保健所単位での集計で、患者の住所によるものではありません。感染症情報に関するご意見、ご質問は [eikanken@pref.ehime.lg.jp](mailto:eikanken@pref.ehime.lg.jp) までお願い致します。

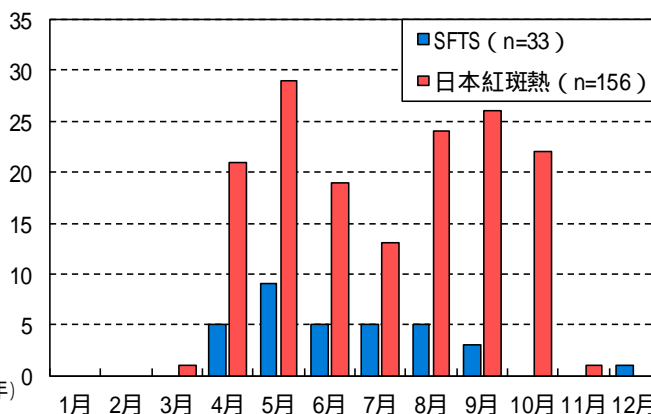
**- 愛媛県内におけるマダニによる感染症の発生状況 -**

愛媛県内において、マダニによる感染症は主に重症熱性血小板減少症候群（SFTS）と日本紅斑熱がみられています。2020年の届出数はSFTS 1例、日本紅斑熱 3例となっています。届出開始以降、SFTS 33例（届出対象疾患となる前に診断された患者1例を含む）、日本紅斑熱 156例の報告がありました。年代別にみると、50歳代以上はSFTS 32例（97%）、日本紅斑熱 143例（92%）と、患者の多くを占めています。また、居住地別にみると、SFTSは八幡浜保健所管内及び宇和島保健所管内がいずれも11例（33%）あり、今治保健所管内、松山市保健所管内及び中予保健所管内が3例（9%）となっています。日本紅斑熱は、宇和島保健所管内が78例（50%）あり、松山市保健所管内が49例（31%）、今治保健所管内が7例（5%）となっています。発症月別では、4月～10月でSFTS 32例（97%）、日本紅斑熱 154例（99%）となり、マダニの活動が活発となる春から秋にかけて患者が多くなる傾向があります。

(人) 県内における SFTS 及び日本紅斑熱届出数の年推移



(人) SFTS 及び日本紅斑熱の発症月別状況



(届け出が求められる前に診断された SFTS 患者 1 例を含む)

令和 2 年 6 月 24 日現在

**病原体検出情報**

令和 2 年 6 月 23 日現在

過去 5 週で新たに検出された定点把握疾患に係る病原体はありません。新型コロナウイルス感染症の関係等で、病原体定点からの検体がほとんどない状況が続いています。

月別病原体検出結果

検体採取月		2020						合計
検出病原体		1	2	3	4	5	6	
ウイルス	コクサッキーA16	2						2
	インフルAH1pdm09	28	11	1				40
	インフルAH3	1						1
	インフルB(ビクトリア)	3	1					4
	アストロ			2				2
	ノロ	1	1					2
	アデノ			1				1
ウイルス計		35	13	4				52
細菌	A群溶レン菌	2	1	1				4
細菌計		2	1	1				4

臨床診断別検出結果 (2020年4月以降採取検体)

4月以降検出された病原体はありません。

注) 表中の検出数は6月23日集計分であり、その後の検出結果は次号以降に反映されます。  
咽頭ぬぐい液にはうがい液・鼻汁・鼻腔ぬぐい液等を含んでいます。

愛媛県 定点把握五類感染症 2020年 第25週 (2020.6.15 ~ 6.21)

患者報告数	インフルエンザ定点			小児科定点										眼科定点		基幹定点							四国中央 西条 今治 松山市 中予 八幡浜 宇和島 愛媛県 1週前 2週前 3週前 年齢別 0-5ヶ月 6-11ヶ月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10-14 15-19 20-29 <sup>5)</sup> 30-39 40-49 50-59 60-69 70-79 <sup>6)</sup> 80-
	1) インフルエンザ		RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	咽頭炎	A群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	2) ロタウイルス胃腸炎	3) 細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	4) クラミジア肺炎	1) インフルエンザ(入院)		
	迅速検査A型	迅速検査B型																					
四国中央						24				1		1	-	-								四国中央	
西条				2	8	26			2	5		4		4								西条	
今治					1	8				5				1								今治	
松山市				1	7	42	5	1		7		2			-	-	-	-	-	-	-	松山市	
中予					12	8				6		1										中予	
八幡浜					3	5		1		2	1	1										八幡浜	
宇和島						2				1												宇和島	
愛媛県				3	31	115	5	2	2	27	1	9		5								愛媛県	
1週前				4	47	122	3	1	1	43	1	2		7								1週前	
2週前				4	51	113		3	4	36		2	1	6		1						2週前	
3週前				2	54	78	2	1	3	28		3		9								3週前	
0-5ヶ月						2																0	
6-11ヶ月				1		7				6												1-4	
1				1	2	19		1		18		1		1								5-9	
2					2	11		1		2				1								10-14	
3					3	12	2					2										15-19	
4				1	2	9	1			1		1										20-24	
5					5	10			1			1										25-29	
6					1	4						1										30-34	
7					6	2			1			1										35-39	
8					3	4					1	1										40-44	
9					4	3						2										45-49	
10-14					2	27	2					2										50-54	
15-19						1																55-59	
20-29 <sup>5)</sup>					1	4																60-64	
30-39																						65-69	
40-49														1								70-	
50-59														2									
60-69																							
70-79 <sup>6)</sup>																							
80-																							

定点当たり報告数

四国中央	-	-			8.0				.3	.3	-	-										四国中央
西条	-	-	.3	1.3	4.3			.3	.8	.7		4.0										西条
今治	-	-		.2	1.6				1.0			1.0										今治
松山市	-	-	.1	.6	3.8	.5	.1		.6	.2			-	-	-	-	-	-	-	-	-	松山市
中予	-	-		3.0	2.0				1.5	.3												中予
八幡浜	-	-		.8	1.3		.3		.5	.3	.3											八幡浜
宇和島	-	-			.5				.3													宇和島
愛媛県	-	-	.1	.8	3.1	.1	.1	.1	.7	.0	.2	.6										愛媛県

- 1) 鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。  
 2) 感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る)。  
 3) 髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌が原因の髄膜炎を除く。  
 4) オウム病を除く。  
 5) 小児科定点疾患については20歳以上の全患者数を"20-29"に計上。  
 6) 眼科定点疾患については70歳以上の全患者数を"70-79"に計上。  
 \*インフルエンザ患者のうち、迅速検査の結果が報告されたもののみ集計(A型・B型の合計数は必ずしも患者数と一致しませんのでご注意ください)。

(参考) 保健所別定点数

定 点	数	愛媛県	四国中央	西条	今治	松山市	中予	八幡浜	宇和島
インフルエンザ定点	61	5	10	8	17	7	7	7	
小児科定点	37	3	6	5	11	4	4	4	
眼科定点	8	-	1	1	3	1	1	1	
基幹定点	6	1	1	1	-	1	1	1	

注) 表中の報告数は6月24日集計分であり、その後の報告数は次週以降に反映されます。





全国 定点把握感染症 2020年 第23、24週 (2020.6.1 ~ 6.14)

(定点当たり報告数)

	1)	小児科定点										眼科定点		基幹定点					
		インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	2) ロタウイルス胃腸炎	3) 細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	4) クラミジア肺炎
23	愛媛県			.1	1.4	3.1		.1	.1	1.0		.1	.1	.8		.2			
週	近畿	.0		.0	.0	2.1	.2	.1	.0	.6	.1	.1							
	香川県			.0	.0	2.1	.2	.1	.0	.6	.1	.1							
	徳島県			.1	.2	1.2		.0		.5		.1		.3			.1	.1	
	高知県			.1	.5	.9	.1	.1	.1	.5	.1	.0						.4	
	全国	.0	.0	.1	.7	1.5	.1	.1	.0	.5	.0	.1	.0	.2	.0	.0	.0	.1	.0
	北海道	.0	.1	.2	.6	.5	.0	.0	.0	.4	.0	.0		.1		.0		.1	
	東北	.0	.0	.2	1.1	1.5	.1	.1	.1	.7	.0	.1		.1		.0		.1	
	関東	.0	.0	.0	.4	1.2	.1	.1	.0	.4	.0	.1		.2	.0	.0	.0	.1	.0
	甲信越北陸	.0	.0	.1	1.0	1.7	.1	.1	.0	.5	.0	.0		.2	.0	.1	.1	.1	.0
東海	.0	.0	.1	.5	1.3	.1	.1	.0	.4	.0	.0		.0		.0		.1		
近畿	.0	.0	.0	.4	1.4	.1	.1	.0	.5	.0	.0		.1		.0	.0	.0		
中国四国	.0	.0	.1	.8	2.0	.1	.1	.1	.6	.0	.1	.0	.3		.0	.0	.1		
九州沖縄	.0	.0	.3	1.5	2.6	.2	.2	.0	.8	.1	.1		.3		.0		.1		

(6.10集計)

24	愛媛県			.1	1.3	3.3	.1	.0	.0	1.2	.0	.1		.9					
	近畿			.0	.4	3.7	.1	.1		.8	.2	.1						.4	
	香川県			.0	.4	3.7	.1	.1		.8	.2	.1						.4	
	徳島県	.0		.1	.4	1.5	.2			.6	.0								
	高知県			.1	.6	1.5	.0	.1	.0	.4	.0				.1	.1	.3		
	全国	.0	.0	.1	.7	1.7	.1	.1	.0	.6	.0	.1	.0	.2	.0	.0	.1	.1	.0
	北海道	.0	.0	.2	.7	.7	.0	.0	.0	.5	.0	.0		.1		.0	.1	.1	
	東北			.2	1.0	1.5	.1	.1	.1	.7	.0	.1		.0		.0	.1	.1	
	関東	.0	.0	.0	.4	1.5	.1	.2	.0	.5	.0	.1		.2	.0	.0	.1	.1	.0
甲信越北陸	.0	.0	.2	.9	1.8	.1	.1	.1	.5	.1	.1		.1	.0	.1	.1	.1		
東海	.0	.0	.1	.5	1.4	.1	.1	.0	.4	.0	.1		.1	.0	.1	.1	.1		
近畿	.0	.0	.1	.5	1.7	.1	.1	.0	.5	.0	.1	.0	.1		.0	.1	.1		
中国四国	.0	.0	.2	.8	2.3	.1	.1	.0	.7	.1	.0	.0	.3		.0	.0	.1		
九州沖縄	.0	.0	.3	1.8	2.6	.2	.2	.0	.8	.2	.1		.2		.0	.0	.1		

(6.17集計)

1) 鳥インフルエンザを除く。

2) 感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る)。

3) 髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌が原因の髄膜炎を除く。 4) オウム病を除く。

